

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりの個性・可能性の開発と伸長が図れる教育を実践する。 ○必要な社会実践力を具体化し、それを身につけさせる。 ○学ぶ意欲、学ぶ楽しさを意識した授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材や共有ツールを活用することで、生徒が「できる」と実感できる場を増やし、学習意欲の向上と学習への苦手意識の軽減を図る。 ・令和10年度に向けて、現在の生徒の様子や学校の現状に合わせたカリキュラムの見直し、検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用することで、視覚的な教材提示を工夫し、生徒が内容を直感的に捉えられる授業づくりを目指す。少人数授業やRT-21では生徒の理解度を確認しながら学習を進め、きめ細かな指導を行う。 ・生徒や教員のアンケートをもとにカリキュラムの改善点を洗い出し、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートにおける「身についたことやできるようになったことを実感することができた」の項目で、当てはまるの割合を維持し、当てはまらないの割合を減少させたか。 ・カリキュラムの改善点をもとに、学校の現状に即した教育課程の編成を進めたか。 					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整える。 ○生徒を支援するという視点を持って、生徒指導を進め、学習・生活環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取組み、日常的な学校生活を通して支援が必要な生徒を見極め、各々の生徒に応じた支援策を考慮・共有して支援に努める。 ・集団生活を通じて、規範意識を高め、基本的な生活習慣を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会やコア会議で気にかかる生徒の状況を共有し、かながわ子どもサポートドック等でさらに支援が必要な生徒を見極め、必要に応じてSC・SSWに繋げる。 ・大和警察と連携して交通安全指導、登下校指導を行う。 ・一斉指導、登下校指導、遅刻指導等を実施し、規範意識を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒状況の情報を共有したか。 ・かながわ子どもサポートドック等を通じて支援が必要な生徒に必要な支援をしたか。 ・登下校の状況は改善したか。 ・各指導を通じて生徒の規範意識は高まったか。 					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自立した個人として自己のキャリア意識を高め、社会と関わり貢献できる生徒を育成する。 ○進路体験活動及び進路フェアの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先との円滑な接続を目指し、外部機関との連携を強化する。 ・進路フェアや進路体験活動の実施方法を改め、生徒がより集中して取り組める環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携事業や体験授業、企業等による職業体験を実施する。 ・3月の進路フェアについては学年ごとに実施するとともに、事前・事後活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部資源を活用し、進路先を見据えた進路行事を実施できたか。 ・生徒の進路への意識が向上したか。 					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	<p>○保護者や地域との協働による学校づくりを推進し、人と社会と未来につながる開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>○中学生及びその保護者に本校の特色・情報等を効果的に発信する。</p>	<p>・HPやXを活用した情報発信を継続し、学校説明会や個別相談会の充実を通して、本校の教育活動や特色への理解を深めてもらう。</p>	<p>・全公立展、学校説明会、校内での個別相談会や学校見学を通じて、本校の魅力を発信し、参加者との対話を大切にした説明を行う。</p>	<p>・学校説明会、個別相談会等の参加者アンケートにおいて、肯定的評価や「理解が深まった」とする回答の割合が向上しているか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>○すべての職員が学校運営の主体としての意識を共有し、一体となって教育活動に取り組む組織づくりを行う。</p> <p>○職員の同僚性を高め事故・不祥事ゼロを目指す。</p>	<p>・すべての職員が生徒の安全・安心を最優先の課題として共有し、情報共有の徹底、危機対応訓練の充実、事前のリスク点検を通して、豊かな学校生活の実現を図る。</p> <p>・教職員の相互理解を深め風通しのよい職場とする。</p>	<p>・すべての職員が、防災をはじめとする危機管理に対する高い意識を常に保持し、事前のリスク点検、情報共有の徹底、定期的な訓練を通して、想定外を生じさせない教育活動を計画的に推進する。</p> <p>・あらゆる機会を捉え、事故・不祥事防止の意識醸成を図る。</p>	<p>・防災等の危機管理に関する共通理解が図られ、リスク点検や情報共有、訓練が計画的・継続的に実施されているか。</p> <p>・不祥事防止研修会の充実を図り、意識が向上したか。</p>					